



お知らせ

平成22年10月19日

資料提供先：島根県政記者会

^{たね}多根橋の健全度を現地で確認します！ ～ 多根橋の状況を公開 ～

中国地方整備局松江国道事務所では、損傷の著しい橋梁について、整備局、事務所、出張所職員による点検を行い、橋梁の損傷状況とその健全性について現地を確認し、その対応方針について検討します。

橋梁の老朽化が進行し、早期発見・早期補修の予防保全対策の重要性が叫ばれるなか、橋梁の現状と対策の必要性を広く一般に理解頂くため、多根橋の点検を報道機関に公開し実施することとしたのでお知らせします。

【実施内容】

- 実施日時 : 平成22年10月20日（水） 14:15～14:45
- 実施概要 : 別紙-1のとおり
- 実施場所 : 島根県雲南市掛合町多根地先 多根橋
- 参加人数 : 約10名

【取材について】

現地状況を踏まえ、多根橋の点検の実施状況を報道機関へ公開して実施します。なお、取材用の駐車スペースは用意していませんのでご注意願います。

【問い合わせ先】 国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

副所長 よしおか 吉岡 はるひこ 晴彦 （内線205）

管理第二課長 ふじはら 藤原 としお 年生 （内線441）

電話 (0852) 26-2131（代表） FAX (0852) 22-9731
(0852) 60-1347（管理第二課直通）

多根橋の点検の実施概要について

1. 主旨

橋梁の多くは高度成長期（1955～1973年）に建設され、今後、老朽化が一斉に進むことから、修繕・架替え等の維持管理に要する費用が急増することが懸念されています。また、鋼製パイルベント橋脚の腐食損傷など、一部の橋梁において重大な損傷が発生している状況にあります。

松江国道事務所では、平成22年4月1日現在、橋長2m以上の橋梁324橋を管理しており、316箇所の橋梁の健全性を確認しています。

この点検・診断済みの橋梁316橋のうち、85橋（約27%）が緊急対応の必要がある橋梁（E判定）、或いは速やかに補修等を行う必要がある橋梁（C判定）と判定し、その点検・診断結果に基づく早期発見・早期補修の予防保全対策に計画的に取り組んでいるところであり、今回、損傷の著しい橋梁について、整備局、事務所、出張所職員による点検を行い、橋梁の損傷状況とその健全性について現地で確認を行い、その対応方針について検討することとしました。

橋梁の老朽化が進行し、早期発見・早期補修の予防保全対策の重要性が叫ばれるなか、橋梁の現状と対策の必要性を広く一般に理解頂くため、多根橋の点検を報道機関に公開し実施することとしたのでお知らせします。

2. 実施日時 平成22年10月20日（水） 14:15～14:45

3. 実施場所 島根県雲南市掛合町多根地先 多根橋



※ 現地状況を踏まえ、多根橋の点検の実施状況を報道機関へ公開して実施します。
 なお、取材用の駐車スペースは用意していませんのでご注意ください。

4. 点検実施者 中国地方整備局 道路部 道路構造保全官 ほか
 松江国道事務所 管理第二課長 ほか

5. 実施内容 14:15頃 事務所より橋梁の損傷概要、対応方針等について説明
14:20～14:45 橋梁点検調書を用いて著しい損傷箇所を点検

6. 点検実施橋梁の概要

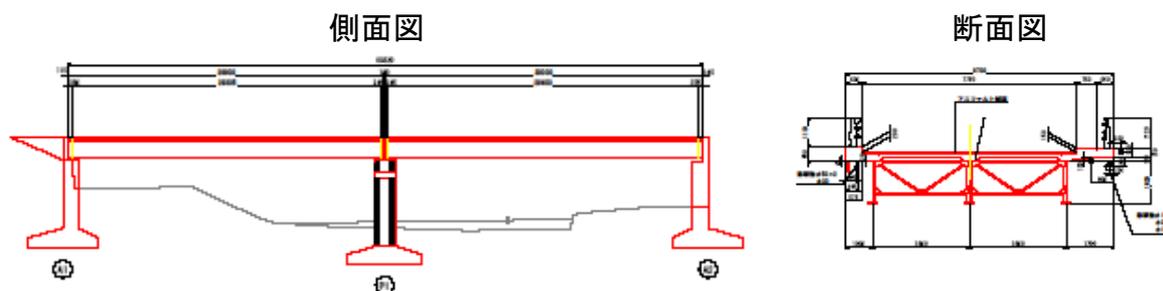
多根橋

位置： 国道54号 134k506

架設年次： 1970年（建設後40年経過）

橋梁点検判定区分： B判定・・・状況に応じて補修を行う必要がある
（上部工の鋼部材の腐食・防食機能劣化等）

【橋梁一般図】



【 全 景 】



【損傷状況写真】



7. その他 別添、参考資料「橋梁の現状とその取り組みについて」参照

橋梁の現状とその取り組みについて

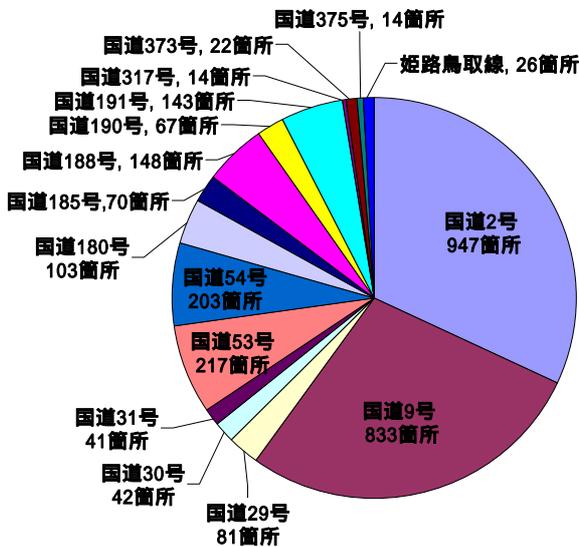
平成 22 年 10 月
中国地方整備局
松江国道事務所

管内の橋梁の現況（参考資料）

橋梁箇所数

- 中国地方整備局では、平成22年4月1日現在、橋長2m以上の橋梁2,971橋を管理しています。
- このうち、松江国道事務所では、324橋を管理しています。
- 路線別では国道9号が252橋、国道54号が72橋となっており、また上部工使用材料別では鋼橋が117橋（約36%）と多くなっています。

中国地方整備管内の橋梁箇所数（2m以上）



(H22.4.1現在)

場所	路線延長(km)	橋梁箇所数	橋梁数/10km
鳥取県内	291.0	459箇所	16箇所
島根県内	343.1	469箇所	14箇所
岡山県内	273.3	705箇所	26箇所
広島県内	351.0	523箇所	15箇所
山口県内	460.3	815箇所	18箇所
合計	1718.7	2971箇所	17箇所

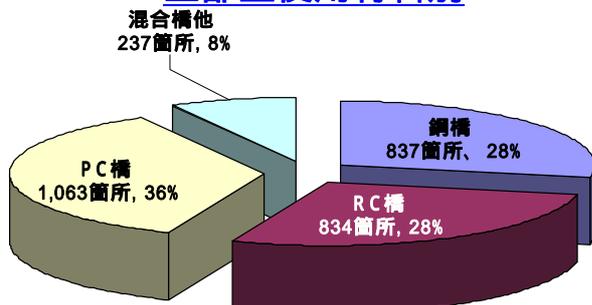
橋梁の現況（上部工使用材料別）

管理橋梁合計		鋼橋		RC橋		PC橋		その他混合橋等	
橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)
2,971	163,645	837	70,708	834	7,970	1,063	54,124	237	30,843

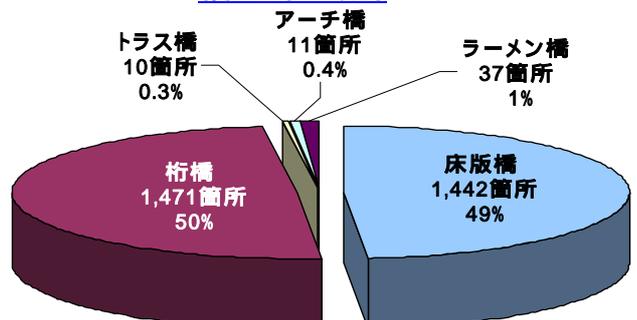
橋梁の現況（構造形式別）

管理橋梁合計		床版橋		桁橋		トラス橋		アーチ橋		ラーメン橋		斜張橋		吊橋	
橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)	橋梁箇所数	延長(m)
2,971	163,645	1,442	31,987	1,471	126,004	10	2,146	11	1,355	37	2,153	0	0	0	0

上部工使用材料別



構造形式別



管内の橋梁の現況（参考資料）

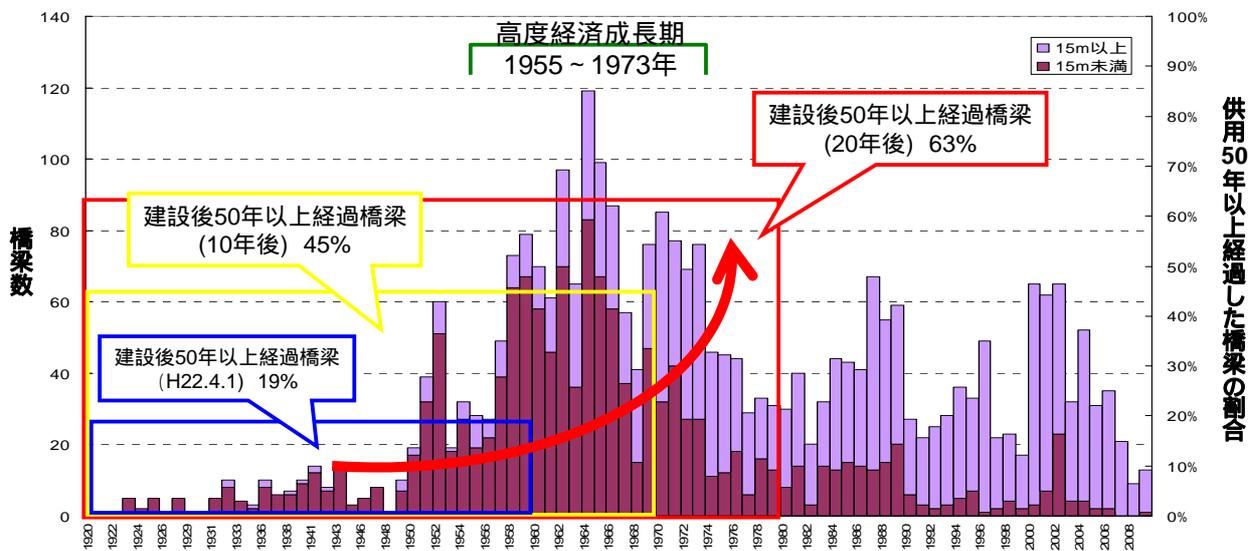
橋梁の年齢構成

中国地方整備局が管理する橋梁は、1955年から1973年にかけての高度経済成長期に全体の半数にあたる約1,350橋が建設されています。今後これらの橋梁の高齢化が一斉に進むことから、集中的に多額の修繕・架替え費用が必要となることが懸念されます。

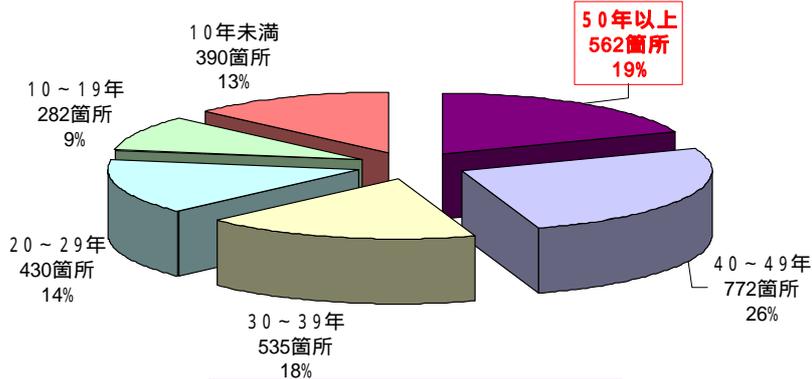
中国地方整備局における建設後50年以上を経過した橋梁箇所数の全管理橋梁箇所数に占める割合は、現在の19%から20年後には63%まで急激に増加します。

対象橋梁は、橋長2m以上

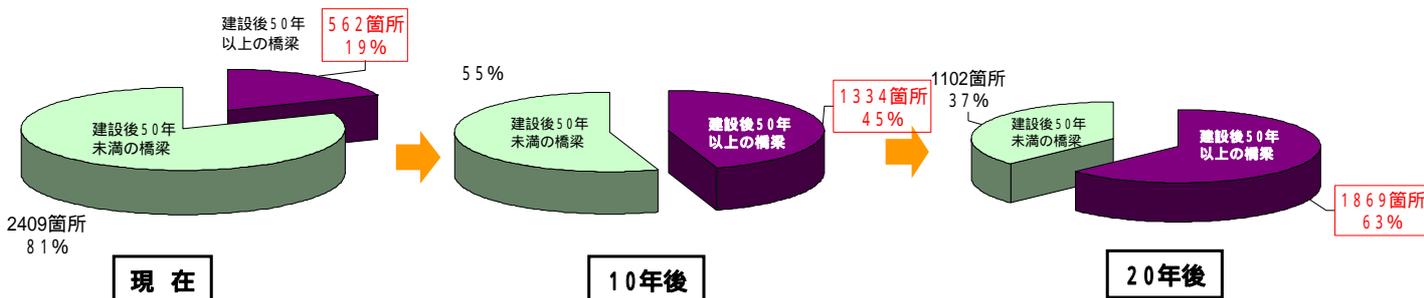
建設年次別の橋梁箇所数分布



経過年数別橋梁箇所数



建設後50年以上の橋梁箇所数
現在19% 20年後63%



管内の橋梁の現況（参考資料）

定期点検の実施状況

直轄国道の橋梁では、2日に1回の巡回と5年に1回の定期点検により、橋梁の健全性を確認しています。

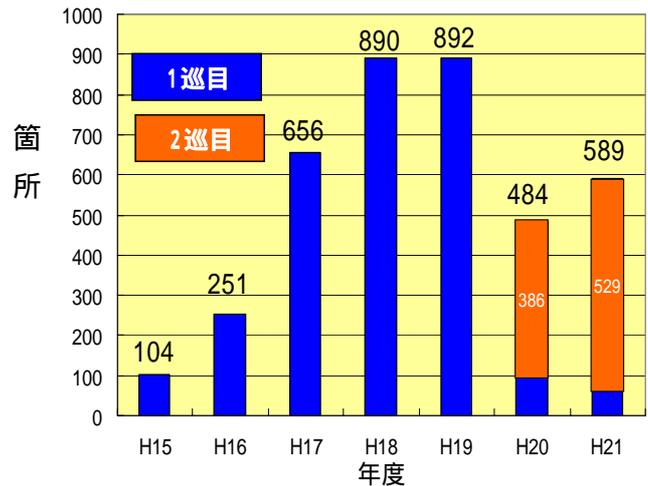
定期点検の実施状況

(平成22年3月末現在)

県名	橋梁数	1巡目点検	2巡目点検
鳥取県内	459箇所	452箇所	118箇所
島根県内	469箇所	467箇所	88箇所
岡山県内	705箇所	699箇所	287箇所
広島県内	523箇所	516箇所	172箇所
山口県内	815箇所	815箇所	252箇所
合計	2971箇所	2949箇所	917箇所

注)各県数値に政令市分含む

定期点検橋梁数推移図



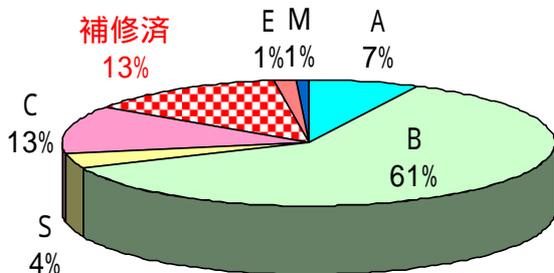
松江国道事務所管内の対策区分判定結果(H21年度末時点)

平成21年度末時点において点検済みの橋梁のうち85橋(約27%)が緊急対応の必要がある橋梁(E判定)、或いは速やかに補修等を行う必要がある橋梁(C判定)と判定されており、このうち44橋(約52%)が未補修の橋梁となっています。

C判定の未補修橋梁については、部材の機能や安全率の低下が著しいため、早期に補修を実施する必要があるとあり、次回の定期点検(およそ5年後)までに補修を行うこととしています。

また、E判定の未補修橋梁については、点検後、緊急対応により当面の安全性を確保しており、関係機関との協議を行い平成22年度に補修工事に着手する予定としています。

対策区分別の橋梁箇所数(H21年度末時点)



H21年度末点検・診断済み N=316橋
(主要部材)

対策区分	判定内容
A	損傷が軽微で補修を行う必要がない
B	状況に応じて補修を行う必要がある
C	速やかに補修等を行う必要がある
E	安全性の観点から緊急対応の必要がある
S	詳細調査の必要がある
M	維持工事に対応する必要がある

対策区分判定について

対策区分判定は、橋梁を構成する部材区分(床版、主桁、橋台、伸縮装置等) 損傷の種類(腐食、ひび割れ等) 毎に、部材の重要性、損傷の進行状況、環境状況など様々な要因を勘案し評価しています。

管内の橋梁の現況（参考資料）

松江国道事務所管内の橋梁保全の取り組み状況

- 平成22年度は、引き続きE判定、C判定の橋梁の補修に取り組むとともに、国道9号逢浜橋などの鋼製橋脚をはじめとする橋梁補修を実施する予定としています。

国道54号上舟津橋(E判定)の補修状況



【損傷状況】主桁腐食・欠損、支承腐食



【施工中の状況】ベント仮受け状況



【施工中の状況】補強部材設置完了

【補修完了】(H22.6)

